

2015 西江原ふれあい広場



139号
H27.12.10 発行

西江原
公民館だより



二〇一五西江原ふれあい広場を、十一月二十二日に、西江原小学校の体育館と運動場で盛大に開催することができました。

運動場での舞台発表では、最初にミュージックスタジオ・カネシマ、ダンスクラスの皆さんが、はつらつとした可愛いダンスを披露してくださいました。続いてサロンや各教室の皆さんには、日ごろの活動の成果を発表していただきました。またカラオケでは有志の皆さんの歌声で、会場を盛り上げていただきました。

また、健康寿命日本一を唱える井原市に呼応して、元気アップ体操を会場の皆さんと一緒にを行いました。

体育館の展示場には、小学校の児童の作品と、各教室などの皆さんに多くの作品を展示していただき、多くの皆さまが称賛しながら鑑賞されたのでした。

会場のテント村も、様々な物品を販売していただき、今回も盛会に終えることができました。

ご協力とご参加いただいた多くの皆さまに心から感謝し、お礼申し上げます。

(文化部長 相田瑞明)

教育講演会

「ネット依存症」という言葉をご存知ですか？スマホを見ていないと落ち着かない人が、若年層を中心に増えているそうです。

去る九月八日に、西江原公民館・小学校共催による「教育講演会」を、小学校体育館で開催しました。「インターネット 安心安全講座」のタイトルで、Eネットキャラバンの山本晴文氏を講師にお招きしました。

今回は、大人七十五名に加え、五・六年生の児童も一緒に参加しました。(合計百七十一名)

ご講演やビデオによる映像で、インターネット(スマホ等含めて)が便利で有効である反面、危険な部分もあることを教えていただきました。子どもたちが、知らない間に犯罪に巻き込まれる場面を目の当たりにし、参加者みんなが気を付けなくてはならないと思える講演会でした。

参加者からは、「安易な考えでネットに関わる危険性など、とてもわかりやすく、今後の参考になった。」「我が子はまだ小さいが、小さいうちから怖さを知ってほしいと思った。」「子どものスマホ以前に、親(大人)の意識を高めるべきだと思った。」等の感想が寄せられ、有意義な時間となりました。



参加者からは、「安易な考えでネットに関わる危険性など、とてもわかりやすく、今後の参考になった。」「我が子はまだ小さいが、小さいうちから怖さを知ってほしいと思った。」「子どものスマホ以前に、親(大人)の意識を高めるべきだと思った。」等の感想が寄せられ、有意義な時間となりました。

(教養部長 田中孝治)

西江原町納涼盆踊り大会



第三十八回西江原町納涼盆踊り大会が、八月十三日に立戸公園において盛大に開催しました。

各地区公民館や子供会、文化教室など踊り連二十三団体、四百人を越える踊り子たちは、色とりどりの法被姿でやぐらの周りを四重の輪で囲み、華やかに踊りました。飾りの提灯もあざやかに見え始めた午後七時すぎ、地踊り保存会のみなさんの音頭で、踊りの始まりです。色とりどりの法被で、地踊り、レコード曲など、会場を踊りの輪で、盛り上げていただきました。

会場は、六地区、三団体のみなさんによる特色ある出店で賑わい、また、休憩時間には、消防団による花火の打ち上げもあり、お越しいただいた多くの町民のみなさんは、お盆の夜を満喫されたことと思います。

最後に、準備段階からお世話になりました大会実行委員会のみなさんをはじめ、関係各位のみなさまにご協力いただき、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(体・レク部長 金島孝和)

敬老会

爽やかな風が頬を撫でる九月十三日、西江原町敬老会が一三六名の敬老者の皆様をお迎えして今年も皆さん交流館で開催することができました。開会行事は、瀧本市長からの記念品、敬老祝い金の贈呈に続いて、ご来賓の祝辞を賜るなど厳粛なうちに終わりました。



その後、演芸の部では、小学生の有志による元気な威勢のいい「ロックソーラン」の踊りに、敬老者は目を細めていらつしやいました。そして、寸劇「ある日のアヒルたち」は、今年度、西江原地区で実施した大雨時に対する避難訓練、防災意識の啓発と、雄神川、神戸川の環境保護の取り組みをテーマに演出したもので、宗高公民館長さん、片山社会福祉協議会長さん扮するバレリーナ姿のアヒルのお母さんが、女性会有志の皆様と大熱演されました。



れ、終盤には全員が手を取り合って白鳥ならぬアヒルのダンスと合唱で幕を閉じ会場は大爆笑でした。地域の皆様の心温まるご協力と、敬老者の皆様に楽しいひと時をお過ごしいただくことができましたこと心より感謝申し上げます。

来年の敬老会もまた、笑顔いっぱいの皆様にお会いできますよう楽しみにしております。

(女性会長 猪原俣江)

パン作り体験



十月五日西江原地区社協サロンの総勢二十五名が鴨方町のタカキベーカリーでパン作りを体験しました。

工場では、一時間千五百個のクルミパン製造のラインを見学、すごいスピードでパンが製造される様子を見て、「早いなあ。」と全員驚いていました。

見学後体験ルームへ、スタッフの足立さんの厳しい指導に、最初は全員やや緊張気味でしたが、途中冗談交じりの説明にほっとし、パン職人さながら、クルミパン他四個のパンを上手に作りました。昼食は、提供された数種のパンとコーヒーをいただき、特にオリブオイルがパンによく合い美味しく、またパンの食べ放題は皆さんに好評のようでした。

その後、美味しく焼きたてが

たパンをそれぞれ箱に詰めお土産として持ち帰りました。このパン作り体験は楽しく有意義な一日となりました。

お世話になったスタッフのお見送りに、皆さん感謝しつつ工場を後にしたのでした。

「ふれあいサロン菜」スタッフでは今後もこのような楽しいふれあいの場を計画したいと思います。

七十歳以上一人住まいの方をはじめ、どなたでも気軽にふれあいの場づくり、仲間づくり、多くのご参加をお待ちしております。

(西江原地区社会福祉協議会 大山博康)

井原夏まつり



八月一日(土)に、第四十一回井原夏まつりが開催されました。今回西江原公民館は、西江原町民の皆様の踊り連と、西江原幼稚園の

皆さんの踊り連の二連で参加しました。

井原夏まつり自体も、過去最多の踊り連と踊り子が参加され、好天にも恵まれ、大変熱気のある夏まつりとなったようです。

その参加連が増えたこともあってか、町民の皆様で参加した踊り連は、残念ながら入賞を逃がしました。幼稚園の踊り連は入賞し、狙っていたダブル入賞はなりませんでしたが、夏まつりを大いに盛り上げることができ、参加していただいた皆様には、大変ありがとうございました。

今後、諸行事の開催に町民皆様のご協力をよろしく願いたいと思います。(文化部長 相田瑞明)

井原市民体育祭

第五十三回井原市民体育祭が、井原運動公園陸上競技場で十月四日に行われました。

大会一週間前に結団式を行い選手役員共に、本番に向けて立戸公園で練習を開始致しました。迎えた当日は昨年の台風の中で行った大会とは一転して、素晴らしい秋晴れのスポーツ日和となりました。

競技では、少年部四百メートルリレー、中学生四百メートル女子、親子リレー男女、そして地域防災リレーでそれぞれ一着になるなど、強豪集うAブロックの中で戦う今年、



入賞というまずまずの成績を収めることができました。

出場していただいた選手の皆様、大変お疲れさまでした。

また、選手の選考、各種準備などでお世話になりました役員の方々と、大変ありがとうございました。惜しくも連覇の夢は逃しましたが、更なる上位進出と優勝をめざし、そして再び優勝旗を西江原へ持ち帰るべく来年度も選手、役員全員で戦いましょう。(体・レク部長 金島孝和)

「小田川決壊を想定した西江原地区避難訓練」

去る八月三十日、井原市の指導のもとに西江原地区避難訓練が実施されました。東新町四組に避難警報発令、一時避難場所から最終避難場所の公民館へ東新町四組の皆さんが避難する中で、要介護者は、車イスやリヤカーによる避難をして後、点呼確認などを実施しました。また非常食の試食・はしご車による模擬避難・給水体験・



関連機関による安全グッズなどの展示と説明、そして自衛隊中隊長による講演など多彩な内容のイベントとなりました。

西江原地区においても、万が一の災害を想定して万全の体制を整えておく必要があるかと思えます。地区によつて想定する災害や避難場所、避難方法は当然違ってきますので、各自治会においては想定する災害に対して、住民の迅速かつ安全な避難対策を早急に検討して頂くことが必要と思われまます。今回の避難訓練は、そうし

特に今回学んだ自助(まず一番に自分の身は自分で守る)共助(そして家族の方・隣近所の方・要介護者の方)の必要性を考えながら西江原町が今後も安全・安心の町であつて欲しいと願っています。

地区避難訓練開催にあたり、西江原町各種団体の多くの皆様には、大変お世話になりましたこと、心よりお礼申し上げます。

(西江原自治連合協議会 会長 三村幸男)

囲碁大会

西江原町第50回囲碁大会が去る9月20日に開催されました。成績は次のとおりでした。

☆大会成績 (敬称略)

クラス	優勝	第二位	第三位	敢闘賞
A	猪原茂隆	落合健二	片山敏光	佐藤泰三
B	大山 隆	中西 稔	藤井啓吾	西山 均

まちづくり報告

「西江原地区まちづくり協議会」の平成二十七年年度の「井原市がらばる地域応援補助金」を活用した事業の取り組み状況はつぎのとおりです。

一「甲山はつらつ学園」

(補助金額二十六万円) 継続

三年目を迎えた学園の今年度の受講者は三十八名(昨年十九名)で、六月六日の「開講記念講演」をかわきりに時季に合わせた講座を実施し、中高年齢者が元気に充実した活動を展開しているところ。



その内容は、「ガーデニング」や「草木染め」、四季が丘での「グラウンドゴルフ」、「そば打ち体験」、「しめ縄づくり」などの学習・体験の講座や「井原夏まつり」西江原踊り連の指導補助と出場、また、西江原伝統の「道祖おどり」を受講生のメンバーが練習を重ねて「ふれあい広場」での披露などの取り組みです。

一月からは小学校児童との交流、視察研修、イベントの実施などを計画しています。

二「雄神川流域の自然と環境を護る会」

(補助金額二十四万円) 継続

昨年から水川会長を中心とした組織で活動を展開しています。



昨年「ホタルの郷」の維持発展を目指した川辺の除草、ホタルの幼虫の放流、「水辺のコンサート」さらには、「西江原写真コンテスト」を実施し、優秀作品を「ふれあい広場」で展示発表と表彰をしました。また、視察研修や清掃活動などをする計画です。

三「神戸川を活かすにも生きる事業」

(補助金額二十万円) 継続

昨年度に続き、神戸川を地域の人たちの生活に活かす方策を立てて、コミュニティづくりを考える事業です。

西新町自治会長を会長とする組織を整え、昨年、大清掃した川岸・川辺を、さらに清掃整備するとともに、小田川の魚などが神戸川に上って来ることができるような対策を講じて、将来的に子どもが水辺で遊んだり、生態観察をしたり

して、持続的に郷土の人々の生活に関われる川となるような方策について検討しています。

今年度は、清掃をはじめ、部分的な取り組みとそのため研修や計画づくりなど考えています。

四「ふるさとへのレシビを探生かす事業」

(補助金額三十万円) 新規

この事業は、昨年度の郷土史書「ふるさと」の絆・西江原の歴史再発見」の発刊事業に替わり、西江原の食文化を中心に、広く文化の財源をレシビと捉えて、西江原の「売り」になるものを探し、発信しようという事業です。

現在のところ準備委員会で検討し

たアンケート調査を実施し、祭りなどでの郷土料理や保存食、それらの名人などについてまとめたところで、その結果等に基づいて、料理教室や食材の販売、幅広い年齢層を対象にした郷土料理や自慢料理の食事を実施するなど、本年度は、特に西江原の食文化について考えていきたいと考えています。

なお、それぞれの事業について、町民の皆さまのお知恵を拝借したいと思えますし、一層のご理解とご支援、ご参加をお願いする次第です。

(西江原地区まちづくり協議会)



第4回 西江原町親睦ペタンク大会

十月十八日(日) 西江原小学校グラウンドにおいて開催しました。この時期にしては汗ばむ程の、素晴らしい天候に恵まれ、また参加者も四十名と過去最高の人数の参加をいただきました。今年の大会は例年と違い、公民館で活動している文化教室間の交流を目的とした大会にしてはとの、館長の提案を生かして、そうした参加者をもとにチーム編成をしました。全く初めて顔を合わせる人もあり、不安はあったようですが試合が始まると、お互い励まし合ったり「ブラボー」と声がかかるいい投球もあつたりでスポーツならではの大きな歓声のもとに、盛り上がりを見せておりました。成績の良し悪しに関わらず交流、親睦の当初の目的を達成できたように思いました。後日、数人の方から面白かった、楽しかったとの声をいただきました。

次回はまた違った形で出来ればと思っています。最後にお世話いただいた皆様に感謝いたします。

(西江原ペタンククラブ 西岡 繁)